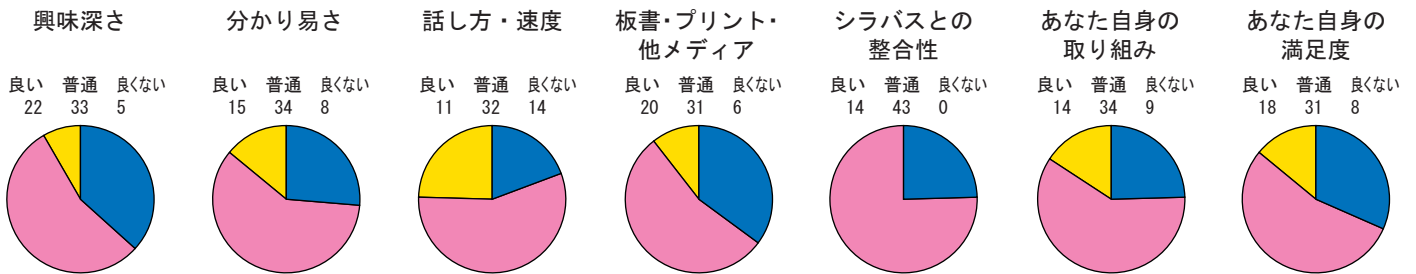


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「生態学概論」

回答者数：57名 履修申請生物学類生数：95名 (回答率60%)



良かった点

- ・特に後半、テンポが割とよく進んだところ。▪
- ・W先生のスクリーンを使った授業はわかりやすくよかったです。
- ・植物と動物と偏りの無い講義だったこと。両方とも、高校で教わったことから応用的なことまでのつなげ方が良かったこと。▪
- ・W先生の授業は面白かった。▪
- ・動物生態学は分かりやすくよい授業だった。オスとメスの戦略の講義は興味深い。▪
- ・動物生態学が面白かった。▪
- ・動物生態学は面白かったけど植物生態学はいまいちでした。
- ・W先生の話し方が面白い。▪
- ・植物篇：最初の生態学に関するキーワード動物篇：話の展開が面白く、内容も興味深いものだった。小テストの形式は期末テストの科目が減り、その時の負担が減るのでよかったと思う。
- ・学期の後半の内容が面白かった。教官の教え方がよかったです。小テストのおかげで授業内容を振り返って理解を深めることができた。
- ・W先生の話に興味をかきたてられた。とにかく話がおもしろかった。テストの形式が嫌でも勉強させるやり方で、うまいと思った。上記の解答はW先生の評価にした。
- ・面白い分野はかなり面白かったです。生態学の本質がわかった気がします。▪
- ・動物では、具体的な例をあげてくれたので話に入りやすかった。
- ・後半戦のWさんの授業はわかりやすかったし興味が持てた。
- ・W先生のお話は楽しかった。

改善すべき点

- ・前半の授業の教授は話しの筋道がわかりづらい。▪
- ・かなり期待していたのですが、全体的にわかりにくく、ミスも目立っていた。▪
- ・煩雑な計算式についてはもっとじっくり進むべき。▪
- ・後半の教官の授業のペースが速すぎる。▪
- ・O先生の授業はたんたんとしていて大事なポイントがよくわからなかった。▪
- ・植物と動物を一つの概論科目にまとめるのには無理がある。それぞれの先生がかなり急ぎ足で講義をなさっていたので、できれば分割してもっときちんとした講義にしていただきたい。▪
- ・スピードについていくのが大変だった。▪
- ・O先生の授業がよくわからなかった。声が小さくてよく聞こえなかった。▪
- ・植物生態学は声が小さく聞き取りにくい。話の流れがつかめない。
- ・前半の授業で、話が聞き取りづらかった。▪
- ・試験の難。▪
- ・O先生の授業はもう少し改善してほしいです。あと声も、もう少し大きくしてください。▪
- ・全体的に、後半5回W先生のお陰で普通に持ち直した。前半は理解できなかった。▪
- ・O先生の授業は一言で言うとひどかった。結局「生態学とは何か」について伝えたかったのだと思うが、退屈なだけだった。もっと他に教えるべきことがあったと思う。W先生の授業にももう少し時間を割いて欲しい。あの内容のままで良いから時間を延ばしてほしい。▪
- ・ちょっと速度が速かったです。▪
- ・植物では、もっと具体的な話をしてほしいです。▪
- ・前半の授業はよくわからなかったし、生態学を勉強している気がしなかった。▪
- ・前半戦のOさんの授業は声が聞こえずらかった。▪
- ・前半の授業はいまいち趣旨がつかみにくかった。

担当教官のコメント

授業の最初に「盛りだくさんの内容なので早口になる。わからねば、いつでも質問をして、授業を止めてかまわない」と説明しました。また、毎回の授業前、手近な学生に「授業が速すぎる」かどうか尋ねてみます。5回の授業中、そして毎回の授業後にも「速い」というクレームは付きませんでした。それにもかかわらず、「速すぎる」という感想を書かれたのは、教官に対して直接意思表示をしづらい学生がいたのかもしれませんが。内容が理解できているならば「速い授業」にがんばって付いてきてもらいたいのですが、「理解できない」ならば、授業速度を落とさねばならないと思いました。ただ、その判断は簡単ではありません。小テストをした結果を見ると、授業を理解できたかどうかという以前に、復習は足りず、自ら積極的に勉強した形跡は認められなかったからです。▪

この授業では、高校時代に習ったような「古典的」生態学ではなく、「現代の」生態学の導入部分をお話ししたつもりです。「生態学とはこういうもの」と決めつけてしまい、それと異なれば受け付けないという学生がかなりいたように感じました。高校時代の算数で解けるはずの簡単なモデル式でさえ、(生物に算数なんて・・・)と、思考を停止してしまっただけでしょうか。1年生の1学期ということもあって、授業に対して受け身で、高校時代の授業の意識からまだ抜け出していないようでした。関連する参考図書の紹介を求められたこともありません。今回、教員側は「自立した学生」として対応していたのですが、今後は「自立した学生に育てる」授業をしなければならないというのが反省点です。